

事業所名	グループホーム あさひ
日付	2009/2/24
評価機関名	特定非営利活動法人 高齢者・障害者生活支援センター
評価調査員	訪問介護員 訪問介護員
自主評価結果を見る	
評価項目の内容を見る	
事業者のコメントを見る（改善状況のコメントがあります！）※	

1. 評価結果の概要

<p>講評</p> <p>全体を通して（特に良いと思われる点など）</p> <p>○ スタッフの笑顔と自然な声掛け、入所者を中心としたケアでコミュニケーションを図りながらパーソンフッドを大切にされた支援への取り組みが見られました。</p> <p>○ 以前はまだまだ出ていない部分ですと言っていた地域との連携も管理者と全職員が一つになり、一步一步改善への取り組みがされており、地域に根ざしたグループホームへの 努力が感じられました。</p> <p>○ グループホームに隣接する広い畑は家庭菜園や花壇があり、野菜や好きな花を育てながら心のリハビリと体を動かす事で身体機能の維持向上を図り、散歩などによる外気浴など自然の暮らしの中でハード面、ソフト面共にバランスのとれた支援ができていようと感じられました。</p> <p>○ 母体が医療法人で永年勤務していた看護師が顧問として現場に関わっており、職員や入居者の相談にあたっている。また法人グループに訪問看護もあり医療ニーズへの支援体制が整っている。</p>
<p>特に改善の余地があると思われる点</p> <p>特に改善というわけではありませんが、これからも常に向上心に沿った改善を心がけ、管理者と職員が一つになり入所者中心の支援に取り組まれる事を期待しております。</p>

2. 評価結果（詳細）

I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有	○	
記述項目	<p>グループホームとしてめざしているものは何か</p> <p>豊かな自然に囲まれた環境を活かし、自然との共生による落ち着いた生活とそれぞれが自立したその人らしい生活を支援し、尊厳を大切にされた家庭的なホームを目指している。</p>		

II 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り	○	
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり	○	
4	建物の外回りや空間の活用	○	
5	場所間違い等の防止策	○	
記述項目	<p>入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か</p> <p>1年を通してその時期に応じた園工作を職員と入所者で協力して作り、ロビー等に飾り、季節感を大切にされた場づくりに努めている。天気の良い日には家庭菜園や花壇づくりとホーム周辺を散歩し、野菜・花を見たり草取りをするなど自然と共に四季折々の生活を楽しんでいただけるように取り組んでいる。</p>		

III ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映	○	
7	個別の記録	○	
8	確実な申し送り・情報伝達	○	
9	チームケアのための会議	○	
10	入居者一人ひとりの尊重	○	
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ	○	
12	入居者のペースの尊重	○	
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援	○	
14	一人でできることへの配慮	○	
15	入居者一人ひとりにあわせて調理方法・盛り付けの工夫	○	
16	食事を楽しむことのできる支援	○	
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援	○	

III ケアサービス（つづき）

番号	項目	できている	要改善
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮	○	
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援	○	
20	プライドを大切にされた整容の支援	○	
21	安眠の支援	○	
22	金銭管理と買い物支援	○	
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保	○	
24	身体機能の維持	○	
25	トラブルへの対応	○	
26	口腔内の清潔保持	○	
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応	○	
28	服薬の支援	○	
29	ホームに閉じこもらない生活の支援	○	
30	家族の訪問支援	○	
記述項目	<p>一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か</p> <p>日常生活とレクリエーションを兼ねたさまざまな活動（食事作り、片付け、掃除等、レク活動における畑仕事、裁縫）を通して本人の意見や生活歴、残存能力を活かした支援に取り組んでいる。</p> <p>特に排泄については個々のパターンを把握して、その都度さりげなくトイレ誘導し自立を促すよう努めている。食事は職員も一緒に食べながら食べ方、食べこぼしなどさりげない介助で食事を楽しく雰囲気づくりに努めています。洗濯干し、洗濯物のたたみなど他の家事も出来るだけ入居者と一緒に行なっている。</p>		

IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映	○	
32	災害対策	○	
33	家族の意見や要望を引き出す働きかけ	○	
34	家族への日常の様子に関する情報提供	○	
35	運営推進会議を活かした取組	○	
36	地域との連携と交流促進	○	
37	ホーム機能の地域への還元	○	
記述項目	<p>サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か。</p> <p>会議や研修で意見、方針の統一化を図り、運営推進会議を活かした取り組み等、積極的にサービスの質の向上に努めている。日常生活での転倒予防・ケアピクス（DVD）等でヒヤリハットの防止に取り組んでいる。心に潤いのある生活を送ってもらえるよう介護スタッフとは別に家庭菜園、花壇の管理整備する職員を採用し、地域の環境整備に努め、地域開放への取り組みがなされている。</p>		